



概要

幕別町においては、今後の少子高齢化の進行による交通弱者の増加や、町内における公共交通空白地域の存在等を踏まえ、効率的で持続可能な公共交通の確保や公共交通の利便性の向上を図ることが課題となっている。

このようなことから、幕別町の地域・交通課題や住民ニーズ等を踏まえ、効率的で持続可能な交通体系の構築と利便性が高いモビリティの確保を目的に、「幕別町生活交通ネットワーク計画」を策定する。

○地域公共交通の現況

- ・JR根室本線(札内駅、稲士別駅、幕別駅)
- ・十勝バス(株)(市内4路線)
- ・町営バス(1路線)
- ・スクールバス(12路線)

○地域公共交通の課題

- ・市街地の一部、農村部において交通空白地域が存在
- ・非効率な町営バス運行
- ・バス利用者の減少

○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・コミュニティバス利用状況調査
- ・幕別町のバス交通に関するアンケート調査

○地域公共交通確保対策協議会開催状況

- 平成24年 5月29日 第1回協議会 ・事業計画(案)について
- 平成24年 9月14日 第2回協議会 ・コミュニティバス試験運行について
- 平成24年12月20日 第3回協議会 ・コミュニティバスの本格運行、運行事業者の選定方法、町営バス駒島線の見直しについて
- 平成25年 3月28日 第4回協議会 ・新年度予算(案)、地域公共交通調査事業に関する事業評価の実施について



幕別町地域公共交通確保対策協議会 調査事業の取組状況

●調査事業の結果概要

- ・地域の現況把握調査、公共交通の現況把握調査、住民アンケート調査、コミュニティバス利用実態調査を実施し、幕別町の地域・交通課題を把握した。
- ・幕別・札内市街地におけるコミュニティバスの導入検討や町営バス駒畠線の見直しについて検討を行った。
- ・幕別町の地域・交通課題を踏まえ、地域公共交通の維持・確保に資する「幕別町生活交通ネットワーク計画(案)」を検討した。

●調査事業実施の適切性

地域内フィーダー系統確保維持事業に向け、生活交通ネットワーク計画策定に必要な調査を実施することができた。

●生活交通ネットワーク計画等の計画策定に向けた方針

- ・今回の調査事業の結果、計画素案を基に、地域内フィーダー系統確保維持計画を策定する。
- ・平成26年度、地域内フィーダー系統確保維持改善事業費国庫補助金の申請を予定

【事業内容】

- ・幕別・札内市街地を運行するコミュニティバスの本格運行を実施する。
- ・町営バス駒畠線の運行形態を定時定路線運行から区域運行に見直し、予約運行型乗合タクシーによる運行を行う予定。

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

次に掲げる点について、アドバイスする。

- ・コミュニティバス及び予約運行型乗合タクシーの導入に当たっては、既存の路線バス等との役割分担や乗り継ぎ円滑化、町内全体の交通体系のあり方にも留意されたい。
- ・将来的な持続可能性にも配慮した運賃及び広告収入のあり方並びにそれらを踏まえた自治体及び事業者との間の費用分担のあり方についても検討されたい。